



東っこ通信 2018

みやき町立三根東小学校
学校だより No.13
平成30年11月8日(木)
校長 築波 真史

学校教育目標

＜豊かな心を持ち、自ら学び、進んで行動する児童の育成＞
～夢にチャレンジ東っ子～

立冬を過ぎましたが..

秋も深まってきて、11月7日(水)には立冬を過ぎましたが、このところ良いお天気が続き、昼間はまだ半袖で過ごせるほどの陽気になります。この時期は年間でもっとも日較差(1日の最高気温と最低気温の差)が大きい季節です。昼間は汗ばむほどの陽気でも、朝夕は気温が10℃を下回り寒さを感じます。私もほぼ毎日西門に立ってあいさつをしながら子どもたちの登校の様子を見ていますが、まだ上着を着て登校していない児童もちらほらいるようです。このような季節は体調を崩しやすい時期でもありますので、どうぞ子どもさんの衣服についても気を配っていただき、しっかりと体調管理をお願いいたします。



さて、修学旅行も終わり、2学期の学校行事としては12月の「もちつき・感謝の会」がまだありますが、しばらくは学校も落ち着きを取り戻し、授業でも充実した学習ができています。私も子どもたちの学習の様子を見て回ったり、先日は5年生の算数の授業に入らせてもらったりしました。また、本校は学力向上についても様々な取組を行っていますが、その一つが「計算タイム」です。普段は朝の時間帯に各学級で個人の計算力向上のために記録を取りながら行っています。しかし、本校のような各学年1学級のような小規模校では、同じ学年の他の学級というものが存在せず、学習や運動で競い合っ

成長する場面に乏しいという課題があります。そこで本校では、異学年での「合同計算タイム」を年に数回実施して、取組への意欲付けや計算力の向上を目指しています。異学年とは言え、基礎基本の計算は学習済みの学年であれば問題無く、上の学年はプライドをかけて努力する動機付けにもなっているようです。写真は先日行われた4年生と6年生の合同計算タイムです。

佐賀県警察本部よりメッセージが届いてびっくり!

佐賀新聞を購読されているご家庭はよくご存じと思いますが、毎日、県内の各小学校の6年生を紹介する「ボクの夢、私の夢」というコーナーがあり、集合写真とともに子ども一人一人の名前も将来の夢とともに紹介されます。本校分も8月2日(木)付けの紙面に掲載され、ご覧になった方も多いと思いますし、掲載紙は学校へも6年生全員分が届きましたので、6年生は持ち帰っていると思います。その中で子どもたちは「こんな〇〇になりたい」との表現でプロ野球選手やサッカー選手など、将来の夢を紹介していましたが、今年「警察官になりたい」と書いていた児童が2人いました。

その掲載からずいぶん経った10月末のある日、佐賀県警察本部から校長宛に封書が届きました。「なんだろう?」と見てみると、なんと「ボクの夢、私の夢」で「将来は警察官になりたい」と書いた2名の6年生の児童に宛てた、「一緒に佐賀の平和を守れるように、勉強や運動を頑張って警察官になってね!」と「未来の警察官」へ向けた励ましのメッセージカードや自転車やバッグなどにつける反射板でした。早速校長室で子どもたちへ渡しましたが、改めて新聞の力はすごいなぁと思うとともに、佐賀県警の粋な計らいに嬉しくなりました。



3年生はみやき町文化祭でダンスを披露しました

毎年11月3日の文化の日に行われるみやき町文化祭には、子どもたちの作品の展示だけでなく、ステージ発表でも参加しています。本校では毎年3年生が体育大会で踊ったダンスを披露するのが恒例になっています。今年の3年生は、転出などもあってわずか16名ですが、その分を元気のよい踊りでカバーしようと、練習でも「動きを大きくしてしっかり見てもらえるように」と担任からの指導もあり、本番では少ない人数ながらも元気いっぱいの「ドラえもん（星野源）」を踊って披露することができました。



芸術鑑賞、今年は「大道芸」を楽しみました

佐賀県まなび課の事業のひとつに、県内の学校の子どもの生涯学習の第一歩となる「はじめてのまなび応援事業」として、様々な文化芸術に触れる機会を支援する事業があります。音楽や芸能などの専門家を各学校へ派遣して子どもたちに本物の芸術に触れさせる機会とするものです。申し込んでも必ず実現できるとは限りませんが、本年度は「大道芸」を鑑賞できることになりました。



「大道芸」と言えば皿回しやバナナのたたき売りなどのイメージで、現代の子どもたちがどのように受け止めるか少し心配しましたが、来ていただいた「とんとこ一座」の皆さんは、獅子舞に始まりユーモアたっぷりに子どもの気持ちを引き付けて、傘回しや皿回しなど古典的な出し物も見事で子どもたちも大道芸の世界に引き込まれていました。

特にコマ回しでは扇子の先にコマを回して見せられると大きな歓声が上がリ、時間もあっという間に過ぎ去りました。子どもたちが夢中になって見ている姿を見て、TVやネットでは得られない生の迫力と、好きなことに一生懸命に取り組む姿は、周りの人をこんなに楽しませることができるのだと改めて感じました。

地震・火災避難訓練を行いました

11月8日（木）に地震・火災避難訓練を行いました。避難訓練には不審者対応などもありますが、必ず毎年行うように義務づけられています。子どもたちへの「お・か・し・も（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない）」の合い言葉や手にハンカチを当てて姿勢を低くして避難することの指導も大切ですが、我々職員が子どもたちを安全に避難させる訓練としても重要です。

今回は西消防署の消防士さん立ち会いのもと、2時間目の途中で地震が発生し、その後家庭科室から出火したという想定で訓練を行いました。避難自体は大変スムーズで、避難開始から2分40秒ほどで全校児童の避難が完了しました。静かに落ち着いて避難できたことを消防署の方からも褒めていただきました。

また、ちょうど転入生が持って来ていた防災ずきんを紹介したところ、消防署の方からも「防災意識の高い地域とそうでない地域があります。防災ずきんなど準備できている地域はそれだけ防災意識も高いです。」と話されました。

その後、児童の代表と職員が消火器を使った訓練を行いました。消火器の使い方として「ピ・ノ・キ・オ（ピンを抜く、ノズルをとる、距離をとる、押す）」という手順を覚えるための語呂合わせを教えてくださいました。次回は子どもたちが自身で判断して安全に避難するための訓練として、昼休みなど、子どもたちが学校中に自由にいる時間帯に抜き打ちで行い、避難の様子を観察して指導に生かしたいと考えています。

